

L O O K



P7 »

## 新中期経営計画

更なる成長に向けて中期経営計画を策定しました。

P8 »

## BRAND CLOSE UP

新規ブランドを展開、持続的成長を目指します。

# 株主通信

第54期 報告書 2015.1.1 ▶ 2015.12.31

株式会社 **ルック**

# BRAND INFORMATION

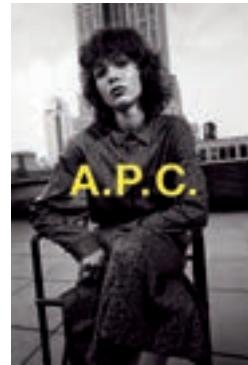
ブランドのご紹介



## H A R Y U

since 1986

**ハリユ**  
カジュアルだがどこかに女性らしさを忍ばせたコーディネート提案。



## A.P.C.

アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。

## LAISSÉ PASSÉ

**レッセ・パッセ**  
女性特有のかわいらしさを表現するヤングキャリア層向けのレディスブランド。



## K O R E T

**コレット**  
自分自身のために時間を楽しむことができる、大人の女性をターゲットにしたコーディネートブランド。



**Début de Fiore**  
デビュー・ド・フィオレ  
繊細さと可憐さを持ち合わせるレッセ・パッセのお姉さんブランド。



## R E M A L O N

miu

**レマロン ミュウ**  
その時々トレンド感と若々しい大人の可愛らしさを意識した大きいサイズのプラトルテブランド。



**イル ビゾンテ**  
ワニー・ディ・フィリッポがデザインするイタリア・フィレンツェ発のバッグ&革製品のブランド。



**イル ビゾンテ ウオモ**  
イル ビゾンテのメンズコレクション。

**ヴェラ・ブラッドリー**  
全ての女性のライフシーンに向けたアメリカ発のライフスタイルブランド。



## S C A P A

**スカパ**  
スコットランドへのノスタルジアを感性の基調に、洗練されたスタイルをベルギーから発信するブランド。



## r o g a

**ロガ**  
今の気分・流行を程よく取り入れ、自分らしさを表現出来る女性に向けて発信するCONTEMPORARY-CASUAL。

## lepetto

PARIS

**レペット**  
1947年、ローズ レペットがバレエ用シューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



**アリス アンド オリビア**  
デザイナーStacey Bendetのパーソナリティとスタイルが凝縮されたライフスタイル全般のブランド。



## K E I T H

キース

プリティッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは自分らしさを常に意識する女性の為のブランド。



## PAUL & JOE

**ポール & ジョー**  
「楽しさ、新鮮さ、明るさ」をキーポイントに、自分のスタイルを自由に楽しむ人にぴったりのコレクション。

## PAUL & JOE SISTER

**ポール & ジョー シスター**  
従来のPAUL & JOEのGIRLYなテイストをトレンドのデザインで表現したセカンドライン。フレンチトラッドをベースとした“クール”なコーディネート提案。



## marimekko

**マリメッコ**  
インテリア、ファッション、バッグと幅広いラインナップを扱うフィンランドのライフスタイルブランド。





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社の第54期(2015年1月1日から2015年12月31日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客様第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 多田 和洋

当期の事業環境と業績の概況について

当期の業績(連結)

売上高	460億 2百万円	(前年同期比 1.0%増)
営業利益	5億 16百万円	(前年同期比 56.1%減)
経常利益	6億 60百万円	(前年同期比 59.3%減)
当期純利益	4億 41百万円	(前年同期比 65.0%減)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府および日銀による経済・金融政策を背景に企業収益や雇用情勢等に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、消費増税後の個人消費低迷の長期化や、中国をはじめとする新興国経済の減速、欧州における債務問題等、海外経済の下振れがリスクとして顕在化し、先行きの不透明な状況が続きました。当アパレル・ファッション業界におきましては、

一部の高額品やインバウンド需要による売上の下支えはあるものの、消費者の節約志向は依然として強く、また天候不順も重なり厳しい状況で推移いたしました。このような状況の中、当社グループは、市場環境の変化に適応できる収益基盤強化に向け、事業の選択と集中を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は460億2百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は5億1千6百万円(前年同期比56.1%減)、経常利益は6億6千万円(前年同期比59.3%減)、当期純利益は4億4千1百万円(前年同期比65.0%減)という結果で終了いたしました。

セグメント別の業績について

「日本」につきましては、既存ブランドの活性化と拡販に注力するなど今後の成長および収益基盤強化に向け取り組んでまいりました。ブリティッシュスタイルブランド「キース」においては、英国テキスタイルメーカーとの共同で、新たなオリジナルタータンチェックの開発を行い、併せて積極的な新店を推し進めたことにより売上が増加いたしました。フィンランドの生活雑貨ブラン

ド「マリメッコ」においては、バッグの販売が好調だったことに加え、Eコマースでの販売を強化した結果、売上が堅調に推移いたしました。イタリアのレザーブランド「イル ビゾンテ」においては、新規出店を推し進めたことにより売上が増加いたしました。Eコマース事業におきましては、外部サイトへの積極的なブランド出店を推し進めたことにより、売上が好調に推移いたしました。連結子会社である、A.P.C.Japan株式会社が展開する「A.P.C.」においては、好調なデニムアイテムに加え、バッグやレザー小物の品揃えの強化、併せて直営店販路への積極的な新規出店を推し進めた結果、売上は大幅に伸びました。株式会社ヴェラ・ブラッドリー・スタイルが展開するバッグを中心としたライフスタイルブランド「ヴェラ・ブラッドリー」は百貨店への販路を拡げ新規出店をいたしました。また、株式会社レッセ・パッセにおいては、大人の女性に向けた新規ブランド「ハリュ」を展開するなど事業拡大に向け取り組んでまいりました。

これらの結果、「日本」の売上高は312億4千4百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益は9千4百万円(前年同期比85.6%減)となりました。

財務ハイライト



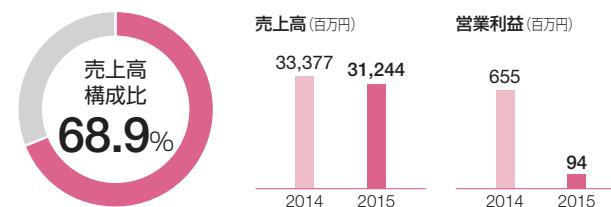
※ 当期純利益は2016年より親会社株主に帰属する当期純利益に変更になります。

## 株主の皆様へ To Our Shareholders

## アパレル関連事業

## 日本

売上高 **312億44百万円** (前年同期比 6.4% 減)  
 営業利益 **94百万円** (前年同期比 85.6% 減)



## 韓国およびその他海外

売上高 **140億86百万円** (前年同期比 21.4% 増)  
 営業利益 **3億43百万円** (前年同期比 4.4% 減)



※売上高及び売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

「韓国」につきましては、消費動向が依然として低迷し厳しい経済環境の中、株式会社アイディー・ルクにおいては、フランスのインポートブランド「サンドロ」やフランスのライセンスブランド「マージュ」などの売上が好調に推移いたしました。株式会社アイディー・ジョイにおいては、ショッピングセンターなどの商業施設に積極的な新規出店をするなど売上高が大幅に増加

いたしました。さらに為替レートが円安ウォン高になったことにより、邦貨換算での売上高は前年同期を大きく上回りました。一方、積極的な店舗展開により販売費及び一般管理費が前年同期より増加いたしました。その結果、「韓国」の売上高は137億2千1百万円(前年同期比23.8%増)、営業利益は4億5千7百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

「その他海外」(香港・中国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)において、効率経営に努めてまいりましたが、出退店による一時的な店舗数の減少により売上高、営業利益は前年同期を下回りました。洛格(上海)商貿有限公司においては、不採算店舗の撤退により営業損失は前年同期に比べ減少いたしました。これらにより、「その他海外」の売上高は3億6千4百万円(前年同期比29.0%減)、営業損失は1億1千3百万円(前年同期は1億7千1百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の売上高は453億3千万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は4億3千8百万円(前年同期比56.8%減)となりました。

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、当社アパレル製品の生産高が前年同期を下回ったことや、OEM事業の売上が減少したことにより、売上高は前年同期より減少いたしました。生産管理体制の効率化により製造費用が減少した結果、営業利益は前年同期より増加いたしました。その結果、売上高は38億9千9百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益は5千1百万円(前年同期比39.9%増)となりました。

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクス

において、新システムの減価償却費の発生などにより販売費及び一般管理費が増加いたしました。その結果、売上高は12億8千4百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は8百万円(前年同期比67.0%減)となりました。

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、イタリアンジェラートの販売を2013年7月より開始しております。現在、麻布十番店、アトレ恵比寿店、なんばパークス店の3店舗において販売しており、当連結会計年度の売上高は1億2千4百万円、営業損失は5千6百万円となりました。

## 次期の見通し

業績予想(連結)	
売上高	425億円 (前年同期比 7.6% 減)
営業利益	6億円 (前年同期比 16.1% 増)
経常利益	7億円 (前年同期比 6.1% 増)
親会社株主に帰属する当期純利益	5億円 (前年同期比 13.3% 増)

2016年度のが国経済の見通しにつきましては、政府や日銀の経済・金融政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されるものの、個人消費については引き続き節約志向による消費マインドの低下、また消費行動の多様化など経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。こうした状況の中、当社グループは、収益基盤の確立に向け、既存ブランドの業績回復、Eコマース事業の売上高拡大、さらに新規事業につきましても積極的に取り組んでまいります。

既存ブランドの業績回復に向けては、商品企画力の強化およびブランド価値向上に努めてまいります。今後の成長性が見込まれるEコマース事業においては、実店舗とEコマース相互の在庫連携に取り組むなど、オムニチャネルの推進を図り、さらなる売上拡大と収益確保を目指してまいります。また昨年導入いたしました新情報システムの活用により、業務の効率化を図り、経営全体への効果をさらに高めてまいります。

海外につきましては、株式会社アイディー・ジョイにおいて、ショッピングセンターなどの商業施設を中心に引き続き新規出店を推し進めることにより、売上の拡大に取り組んでまいります。中国の洛格(上海)商貿有限公司においては、不採算店舗の閉鎖やオンラインショップの拡大など収益の改善に努めてまいります。

2016年12月期の連結業績につきましては、連結売上高425億円(前年同期比7.6%減)、連結営業利益6億円(前年同期比16.1%増)、連結経常利益7億円(前年同期比6.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億円(前年同期比13.3%増)を見込んでおります。

## 次期の配当について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、財務体質の強化、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2016年度12月期の配当(予想)につきましては、上記の基本方針に沿って1株当たり5円と増配を予定しております。

## 新中期経営計画の重点政策

抜本的な事業構造改革による事業ポートフォリオ再構築に注力し、収益力を向上させ、将来に向けた成長軌道を描く。

### 1 既存事業の収益向上

- 当社が創業以来、積み上げてきた「企画力・ものづくり力」をより高め、NB事業の商品力を向上
  - ➔「商品企画室」を設置し、高品質で高付加価値のある商品をお客様に提供する。

SCAPA KEITH

- 事業の「選択と集中」
  - ➔経営資源を主力事業へ効果的に投資することで、適正な事業ポートフォリオを構築する。



marimekko A.P.C. Lepetto

〔安定的な収益基盤を確立〕

### 2 EC事業の拡大

- 実店舗とECサイトの在庫一元化
  - ➔商品の品揃えを充実させることにより、お客様の利便性を向上させる。
- 顧客データシステムを刷新
  - ➔実店舗とECサイトの連携をさらに高め、お客様一人ひとりに向き合ったキメ細かいサービスを目指す。

〔EC売上構成比を早期に10%へ〕

### 業績目標

	実績		計画	
	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高	460億円	425億円	435億円	450億円
経常利益	6.6億円	7億円	9億円	12億円
経常利益率	1.4%	1.6%	2.1%	2.7%

### 3 積極的な新規事業開発

- オリジナル事業(NB事業)の開発
  - ➔当社の積み上げてきた「企画力・ものづくり力」と展開力を活かしたオリジナルブランドを開発
- 新しいインポート事業の開始
  - ➔国内外から評価されている当社の強み「魅力のあるブランドを発掘・発展させる力」を活かした新たなインポート事業のスタート

〔お客様の共感を得られ、支持されるブランド事業を開発、将来の主力事業へ〕

### 4 その他の政策

- 人材育成
  - 創造性の豊かな人材の育成
    - ➔若手から中堅人材への教育制度を拡充
  - 多様な人材活用により環境の変化に対応
    - ➔女性の積極登用、店頭をはじめとするセクションを越えた人材の流動化

〔チャレンジ精神に溢れ、活気に満ちた企業グループへ〕

- コンプライアンスの徹底
  - 従業員一人ひとりのコンプライアンス意識を強化・徹底すべく、グループをあげて取り組み

〔お客様・社会からの信頼が高まる企業グループへ〕



## 新規ブランドを展開、持続的成長を目指します。

新しいライフスタイルや価値を創造する新規ブランドの「ハリュ」をご紹介します。



HARYU  
since 1986  
「ハリュ」

上品さと大人の女性のかわいさを兼ね備えたブランド

株式会社レッセ・パッセより、大人の女性に向けたブランド HARYU(ハリュ)が新たにデビュー。  
モードエレガンスをベースに、キーワードはレディーライク。カジュアルだがどこかに女性らしさを忍ばせたコーディネートを提案。女性が美しく見えるスタイルにスポットライトをあて、年齢にとらわれない大人たちに向けて提案します。

## 既存ブランドの活性化を図りました。



KEITH  
「キース」

1985年にスタートした「キース」が、ブランド創設30周年を記念して新たなハウスタータンを発表しました。

## TOPICS

### 「J∞QUALITY」企業認証取得

当社とルックグループの自社工場である有限会社アリスと有限会社ラボ・オーフナトは安全・安心・コンプライアンス企業認証である「J∞QUALITY」を取得しました。「J∞QUALITY」とは、素材の織り、編み、染色、整理、及び、製品の縫製、企画、販売の全てにおいて、安全・安心・コンプライアンス企業認証を取得した企業によって作られた「こだわり」のある純国産の商品を認証する制度になります。



## 既存ブランドの収益拡大に向けた取り組み

### 既存ブランド新規出店政策の遂行

# A.P.C.

「アー・ペー・セー」

二子玉川店と広島店と札幌店をオープンし、京都店は移転いたしました。



二子玉川店



広島店



札幌店



京都店



*Alice and Olivia*  
W STORIES HOUSE

「アリス アンド オリビア」  
福岡岩田屋本店を  
新たにオープンしました。



丸の内店と池袋店を新たに  
オープンしました。  
また、名古屋店と高松店の  
オープンを予定しています。

「イル ビゾンテ」



丸の内店



池袋店

*Vera Bradley*

「ヴェラ・ブラッドリー」  
大阪LaLaPort  
Expocity店を新たに  
オープンしました。



marimekko

「マリメッコ」  
金沢店が新たに  
オープンしました。



GELATERIA MARGHERA

「ジェラテリア マルゲラ」  
関西初出店となる  
なんばパークス店が  
オープンしました。

### 海外展開

### 韓国で好調を維持

株式会社アイディールックが展開する「サンドロ」「マージュ」が好調に推移。  
また子会社の株式会社アイディージョイは新規出店を推し進めました。



麗水店



ヒョンダイ  
現代百貨店  
パンギョ  
板橋店

### Eコマース事業を強化

#### 2015年

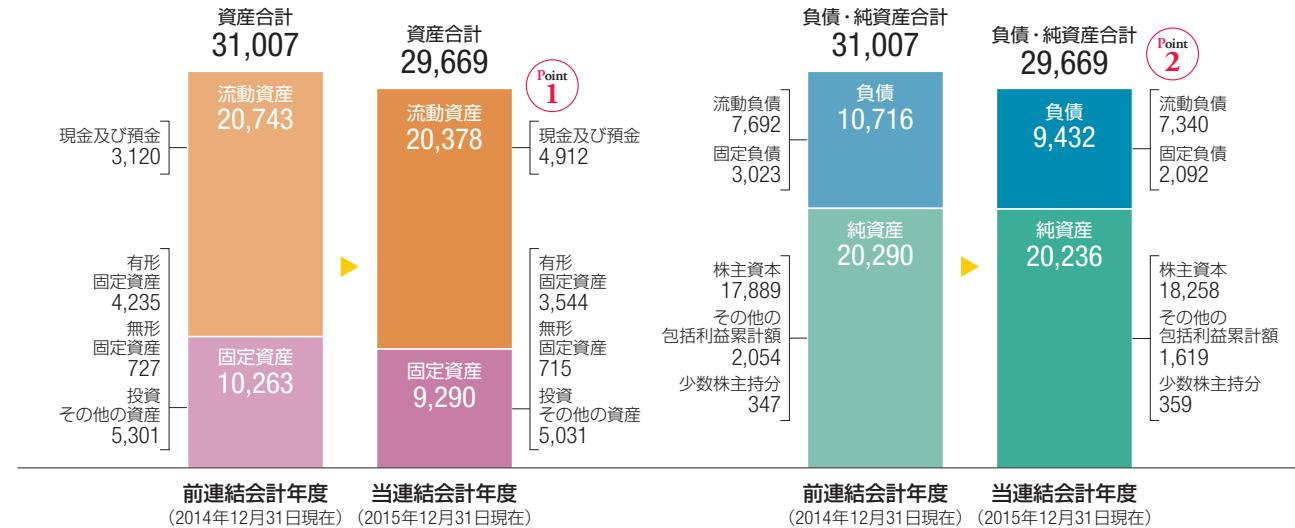
- マルイウェブチャンネルにシステム連携により出店(ヴェラ・ブラッドリー)
- 集英社Flag shopにシステム連携により出店(マリメッコ、アリス アンド オリビア、ポール&ジョー、ポール&ジョー シスター、ヴェラ・ブラッドリー)
- ZOZOTOWNへ新規出店(ポール&ジョー シスター、レペット)
- レペットのモバイルサイトOPEN

#### 2016年

- マリメッコ日本公式オンラインストアの開設
- ZOZOTOWNへヴェラ・ブラッドリーが新規出店(3月予定)
- LOOK@E-SHOPでの店舗在庫表示、取扱いブランド順次拡大

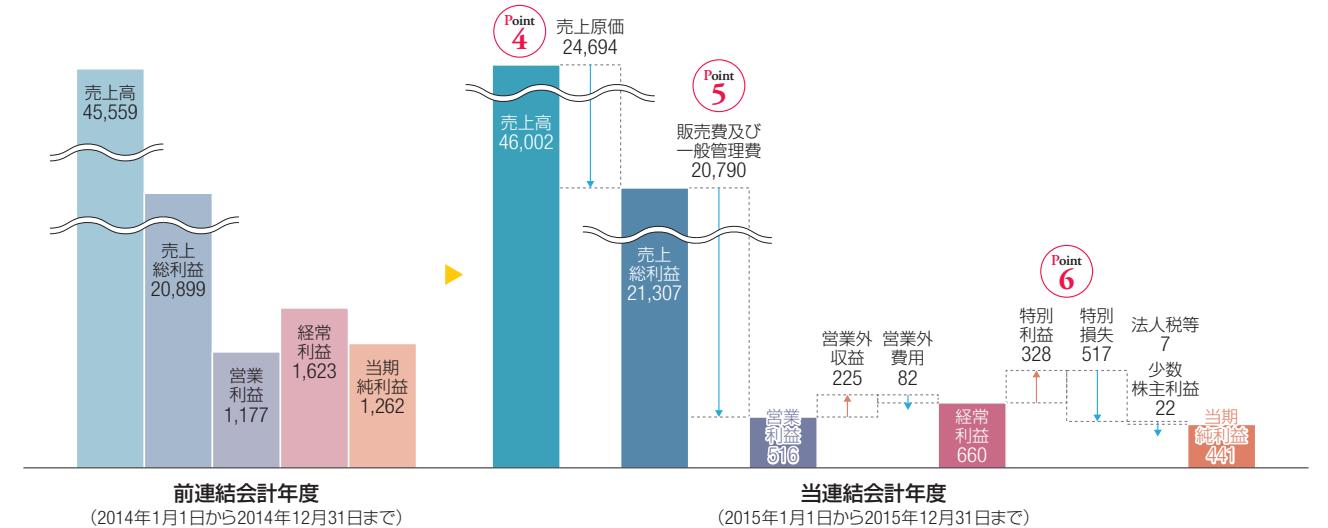
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



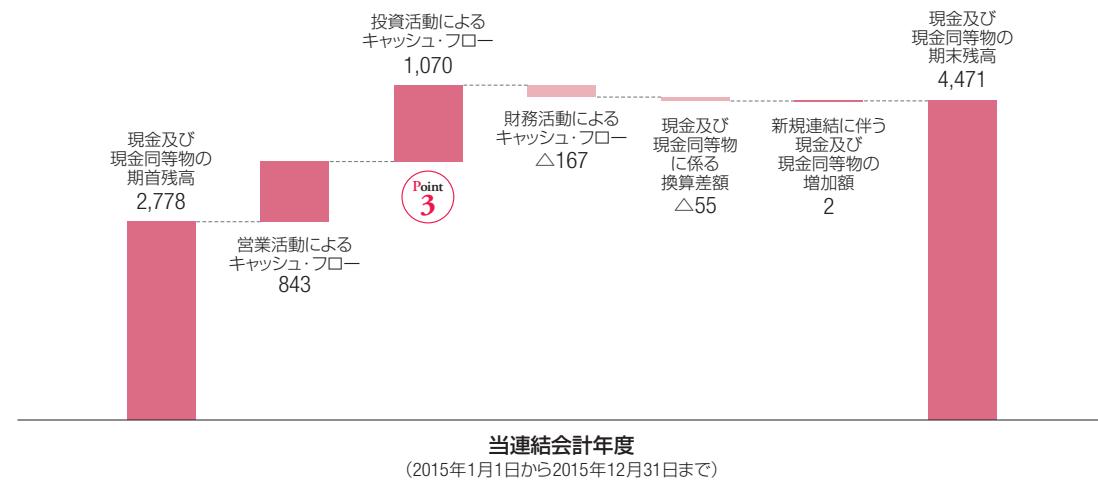
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



- Point 1 流動資産および固定資産**  
事業譲渡に伴い「商品及び製品」や「有形固定資産」を譲渡したことなどにより、流動資産および固定資産が減少しました。
- Point 2 負債**  
「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより、負債が減少しました。
- Point 3 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
事業譲渡に伴い「商品及び製品」や「有形固定資産」を譲渡したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローが10億7千万円の収入となりました。

- Point 4 売上高**  
事業譲渡による売上高の減少要因がありましたが、連結子会社での積極的な拡販策などにより、売上高が増加いたしました。
- Point 5 販売費及び一般管理費**  
収益基盤の強化に向け積極的な新規出店を推し進めたことなどにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。
- Point 6 特別利益・特別損失**  
「事業譲渡益」を特別利益として計上したほか、「減損損失」および「ブランド撤退損失」などを特別損失に計上いたしました。

## 会社の概要 2015年12月31日現在

商号	株式会社ルック
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	63億4,093万円
主要な事業内容	婦人服等の企画、販売
従業員数	1,753名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行
本店	〒153-8638 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel: 03-3794-9100
支店	〒550-0021 大阪市西区川口2丁目2番17号 tel: 06-6583-9991
連結子会社	<p>A.P.C. Japan株式会社 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel: 03-6864-2603</p> <p>株式会社レッセ・パッセ 東京都渋谷区元代々木町4番5号クレアトゥール tel: 03-5790-7201</p> <p>株式会社ヴェラ・ブラッドリー・スタイル 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel: 03-3794-9322</p> <p>株式会社ルックモード 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel: 03-3794-9300</p> <p>株式会社エル・ロジスティクス 千葉県習志野市茜浜2丁目3番1号 tel: 047-455-2111</p> <p>株式会社ファッションブルフーズ・インターナショナル 東京都港区麻布十番2丁目5番1号 tel: 03-5772-3283</p> <p>株式会社アイティールック(韓国ソウル市) 580,Gangnam-Daero,Gang Nam-gu,Seoul,Korea tel: 82-2-3438-9125</p> <p>株式会社アイティージョイ(韓国ソウル市) 22,Gangnam-Daero,136-gil, Gang Nam-gu,Seoul,Korea tel: 82-70-7729-6008</p> <p>ルック(H.K.)Ltd.(香港九龍) 2211-2212 Metro Centre II 21 Lam Hing Street, Kowloon Bay, Kowloon, Hong Kong tel: 852-2751-8773</p> <p>洛格(上海)商貿有限公司(中国上海市) 上海市浦東新區連溪路1151号 中電綠色科技園 4号楼3楼 tel: 86-21-5039-1533</p>

## 役員構成 2016年3月30日現在

代表取締役会長	牧 武彦
代表取締役社長	多田 和洋
専務取締役	城所 幸男
常務取締役	高山 英二
取締役	趙 昇坤
取締役	福地 和彦
取締役	遠藤 洋一
常勤監査役	永瀬 雅俊
監査役	杉田 徹
監査役	服部 秀一

(注) 1. 取締役 福地和彦氏および遠藤洋一氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 杉田徹氏および服部秀一氏は、社外監査役であります。  
3. すべての社外取締役及び社外監査役を(株)東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

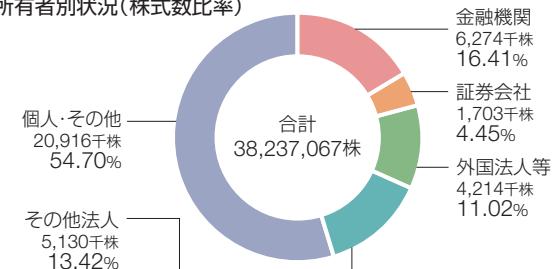
## 株式情報 2015年12月31日現在

発行可能株式総数 120,000,000株  
発行済株式の総数 38,237,067株  
株主数 5,219名  
大株主

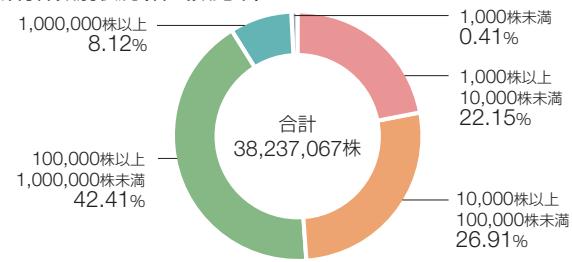
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	3,105	8.13
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	815	2.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	784	2.05
住友生命保険相互会社株式会社三越伊勢丹	771	2.02
672	1.76	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	664	1.74
株式会社三井住友銀行	654	1.71
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	590	1.55
ルック役員持株会	465	1.22
U A ゼンセンルックユニオン	463	1.21

(注) 持株比率は、自己株式(63,058株)を控除して計算しております。

### 所有者別状況(株式数比率)



### 所有株数別状況(株式数比率)



※自己株式63,058株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「1万株以上」に含まれております。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

**【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】**  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

**【特別口座について】**  
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

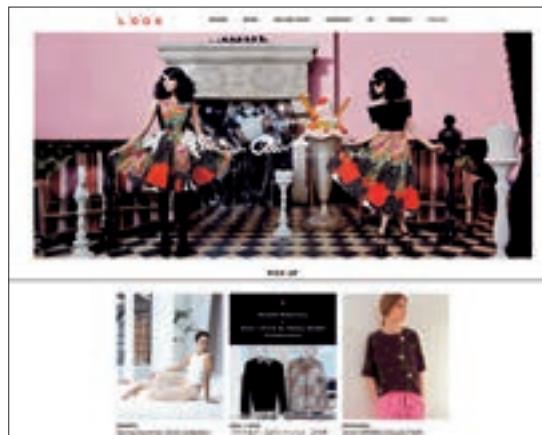
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.look-inc.jp/ir/">http://www.look-inc.jp/ir/</a> ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
-------	--

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

## 最新ブランドニュースなど 多彩な情報が満載

ブランドインデックス、その他各種イベント・新作情報・ニュース、  
会社案内など最新情報をお届けしています。

<http://www.look-inc.jp>



### IR情報



<http://www.look-inc.jp/ir/>



IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの  
各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を満  
載していますので、是非一度当社のIRページをご覧ください。

ルックがお届けする  
ファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」

# LOOK@E-SHOP

お客様のライフスタイルに合わせ、  
パソコンやスマートフォンなどから  
いつでもショッピングをお楽しみいただけます。

▼QRコード



<http://www.e-look.jp>

